

校訓	敬愛・自律・勤労
教育目標	個々の能力の伸長と、心豊かでたくましい生徒の育成
経営方針	○すべての教育活動を通して、思いやりのある心、命を大切にする生徒の育成に努める。 ○わかる授業を創造し、進んで学ぶ生徒を育て、学力の向上に努める。 ○1年後の閉校、学校統合を見据えて、伝統や文化を大切にし、将来への夢や希望を持ち、意欲的に開拓しようとする生徒の育成に努める。
めざす生徒像	(1)「よく聞き、よく考え、自分の思いを話す」ことのできる生徒 (2)自ら学び、考え、何事にも地道にこつこつと頑張る生徒 (3)人権を尊重し、友と共に支え合い、優しさたくましさ併せ持つ生徒 (4)ふるさとを大切にし、誇りを持つ生徒

**生徒の状況**

- ・まじめで素直、基本的な学習姿勢を身につけている。
- ・自尊感情が高く、自己肯定感が強い。
- ・ひとつにまともろうとする仲間意識が強く、地域や学校を大切にする。
- △・発言、発表の声が小さく、表現力や学ぶ意欲がやや弱い。
- ・家庭学習習慣（特に予習）や、発言・発表スキルが定着していない。
- ・積極的に人間関係（交友関係）を築こうとする意欲が弱い。

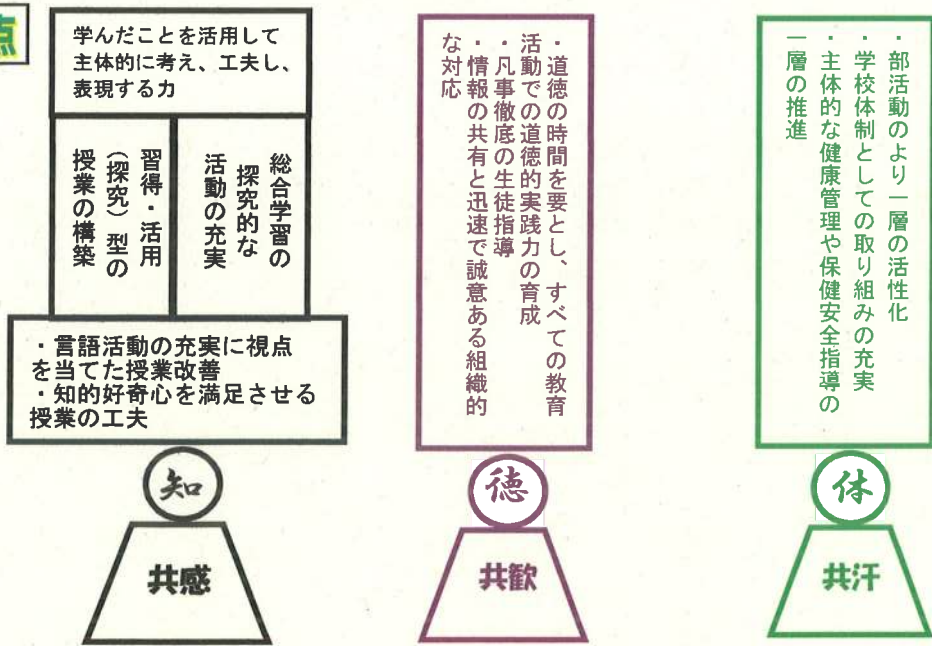
**育てたい力**

生きる力  
 自ら求めてさらに前に進もうとする学習意欲

**教育方針**

鍛えて伸ばす  
 仲間とともに伸ばす

**取組の視点**



＜めざす生徒像を実現するために＞

- 1 中学校卒業時の姿（義務教育修了時の姿）を見通した、一貫性のある教育活動の計画・実践
- 2 「地域に信頼され愛される学校づくり」、「地域に貢献する人材育成」を
- 3 週30時間の教育課程編成や指導法の工夫（T・T、少人数指導）
- 4 学校統合の視点を盛り込んだ教育活動
- 5 行事で生徒を育てる意識の醸成とリーダーの育成
- 6 積極的な情報公開と信頼関係の構築

<本年度の指導の重点（努力点）>

(1) 学力向上

- ①基礎・基本の確実な定着を図るとともに、それらを活用して、主体的に考え、判断し、工夫したり表現する力や学ぶ意欲を育成する。そのために、言語活動を基盤としながら、各教科における習得・活用型の授業の構築及び総合的な学習の時間における探究的な活動の充実を図る。
- ②知的好奇心を満足させる授業を工夫する。(教材や発問の工夫、「ねらい」や「授業の流れ」の提示等)
- ③ともに学び、ともに高め合うことのできる学級を基盤とした学習集団を構築する。
- ④個に応じた支援(指導)を充実させる。

(2) 生徒指導

- ①生徒一人一人に対する深い愛情に基づいた指導を実践する。
- ②当たり前のことが当たり前ができる、守れる生徒を育成する。(挨拶・清掃・服装等)
- ③迅速で誠意ある組織的な対応を心がける。「ほう、れん、そう」

(3) 道徳教育

- ①道徳の授業を充実させるとともに、教育活動全体で道徳的実践力を育成する。(特に、場にふさわしい発言や行動のできる生徒の育成)
- ②道徳の授業を積極的に公開する。

(4) 人権教育

- ①ともに認め合い、支え合い、高め合う学級経営を推進する。
- ②生徒一人一人の教育的課題を明確にした上での学力保障や進路保障を推進する。

(5) 特別支援教育

- ①日常的な見取りに基づく全職員の共通理解と関与を図る。
- ②実態に応じた教育支援を実践する。
- ③適切な就学指導を推進する。

(6) 健康教育

- ①心と体を大切にし、生涯を通じて健康で安全な生活を送ることができる資質や能力を育成する。
- ②給食指導と関連させた食育を推進する。

(7) 環境教育

- ①ものを大切にし、節電・節水を実行できる生徒を育成する。
- ②生命や自然を尊重し、環境の保全に寄与する態度を養う。

(8) 進路指導・キャリア教育

- ①将来の就労を見据えたキャリア教育を推進する。
- ②「ライフスキル」(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力 等)を育成する。
- ③的確な進路選択と実現に向けての支援を行う。

(9) 生徒会活動

- ①校訓と連動した活動の工夫と活性化を図る。
- ②各々の活動の場面や所属単位に応じたリーダーを育成する。

(10) 部活動

- ①心身の調和的発達を見据えた「素直な心とやる気」を育成する。
- ②顧問や異学年交流を通して良好な人間関係づくりを促進する。